

2 日本人用アンケート調査票

国際化・多文化共生に関するアンケート

【アンケート調査にご協力をお願いいたします】

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

廿日市市では、国際化・多文化共生について、市民の皆様のご意見や考えをお聞きし、今後の施策や事業に役立てるため、アンケート調査を行います。

この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方々から、無作為に選ばせていただきました1,000名の皆様へお願いしております。また、同様の質問を含むアンケート調査を、市内在住の外国籍住民（※外国人登録をしている人）にもお願いしています。

なお、この調査は無記名で集計は統計的に処理しますので、調査結果の公表において個人が特定されることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3(2021)年9月
廿日市市長 松本 太郎

記入にあたってのお願い

- 調査票にはあて名の人が無記名でお答えください。
- 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。○をつける数は、質問中の指示に従ってください。
- 回答が選択肢の中にある場合は、「その他」を選び、()内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- 答えられない質問や答えたくない質問には答えなくてもかまいません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、切手を貼らずに **9月30日（木曜日）までに**ポストに入れてください。

廿日市市 自治振興部 国際交流・多文化共生室
住 所：〒738-0014 廿日市市住吉二丁目2-16
電 話：0829-30-0201
FAX：0829-32-3742
e-mail：kokusaikoryu@city.hatsukaichi.lg.jp

I あなた自身のことについてお聞きします

問1 年齢を教えてください。(○は1つ)

1 18～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳
4 40～49 歳	5 50～59 歳	6 60～69 歳
7 70 歳以上		

問2 住んでいる地域を教えてください。(○は1つ)

1 廿日市地域	2 佐伯地域	3 吉和地域
4 大野地域	5 宮島地域	6 その他 ()

問3 あなたは、次のようなことに興味がありますか。(それぞれ1つに○)

番号	項目	関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない
①	自治会や町内会の活動	1	2	3	4	5
②	祭りや伝統行事などの地域のイベント	1	2	3	4	5
③	社会奉仕・ボランティア	1	2	3	4	5
④	世代や国籍の違う人と交流できること	1	2	3	4	5
⑤	友人・知人が増えること	1	2	3	4	5

Ⅱ 国際化・多文化共生についてお聞きします

問4 次のうち、今までにあなたが参加した活動や経験したことはありますか。
(○はいくつでも)

- 1 市民センター（公民館）の国際理解講座（外国の料理・文化など）
- 2 市民センター（公民館）の外国語の教室・クラブ
- 3 国際交流協会の講座やイベント
- 4 国際的な文化・芸術・スポーツイベント
- 5 途上国などへの物資の寄贈
- 6 青年海外協力隊、シニア海外ボランティアへの参加
- 7 海外への留学、ワーキングホリデー、ホームステイ
- 8 海外での就業
- 9 7、8以外の理由による海外での居住（3ヶ月以上）
- 10 ホームステイの受入れ
- 11 国際交流に関するボランティア
- 12 日本語教室での支援
- 13 外国籍住民への支援（相談・通訳・声かけなど）
- 14 その他（)
- 15 特にない

問5 次のうち、これからあなたが参加したい活動はありますか。(○はいくつでも)

- 1 外国の料理・文化などを理解する講座
- 2 外国語を学ぶ教室・クラブ
- 3 外国の人と交流するイベント
- 4 国際的な文化・芸術・スポーツイベント
- 5 途上国などへの物資の寄贈
- 6 青年海外協力隊、シニア海外ボランティア
- 7 留学、ワーキングホリデー、ホームステイ
- 8 ホームステイの受入れ
- 9 通訳・ガイドのボランティア
- 10 日本語教室での支援
- 11 外国籍住民へ日本文化を紹介する活動
- 12 外国籍住民への支援（相談・通訳・声かけなど）
- 13 外国籍住民とのまちづくり活動
- 14 その他（)
- 15 特にない

問6 「国際交流」に対してどのようなイメージをお持ちですか。(○は2つまで)

- 1 英語など外国語を使って活動ができる
- 2 海外からの訪問グループなどと交流ができる
- 3 海外へ留学・ホームステイをする
- 4 地域のお祭りや行事で外国籍住民と交流する
- 5 海外と芸術・文化の交流ができる
- 6 友好都市など自治体間が交流する
- 7 海外の人や身近な外国籍住民と個人間で交流する
- 8 学校で国際的な教育が受けられる
- 9 海外被災地の支援や途上国の援助を行う
- 10 その他 ()

問7 「多文化共生」に対してどのようなイメージをお持ちですか。(それぞれ1つに○)

番号	項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
①	外国籍住民が増える	1	2	3	4	5
②	外国の文化・風習に触れる機会が増える	1	2	3	4	5
③	多様な生き方が認められるようになる	1	2	3	4	5
④	異文化に対する抵抗感が無くなる	1	2	3	4	5
⑤	地域の活性化に繋がる	1	2	3	4	5
⑥	外国籍住民が地域の行事に参加する	1	2	3	4	5
⑦	多言語表記を見る機会が増える	1	2	3	4	5
⑧	多言語で会話する人が増える	1	2	3	4	5
⑨	外国籍住民向けの施策により社会的な負担が増えてしまう	1	2	3	4	5
⑩	習慣や文化の違いからトラブルが起こる	1	2	3	4	5
⑪	治安が悪化する	1	2	3	4	5
⑫	異なる文化も受け入れなければならない	1	2	3	4	5

Ⅲ 外国籍住民とのかかわりについてお聞きします

問8 10年前（平成23（2011）年）に比べて、外国籍住民が多くなったと感じますか。
（○は1つ）

1 感じる 2 感じない 3 わからない

問9 あなたは、外国籍住民に対して、次のようにかかわりたいと思いますか。
（それぞれ1つに○）

番号	項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
①	自分から積極的に話しかけるようにしたい	1	2	3	4	5
②	地域の祭りや催しに参加を呼びかけたい	1	2	3	4	5
③	外国人から、出身国の文化や言葉を学びたい	1	2	3	4	5
④	困っている外国人を見かけたら手助けしたい	1	2	3	4	5
⑤	外国人を支援する活動に、寄付を行いたい	1	2	3	4	5
⑥	外国人を支援する活動に、ボランティアとして参加したい	1	2	3	4	5
⑦	外国人と交流するイベントに、参加したい	1	2	3	4	5

問 10 外国籍住民とのつきあいがありますか。(○はいくつでも)

- 1 近所づきあいをしている
- 2 職場でのつきあいがある
- 3 町内会・コミュニティでのつきあいがある
- 4 友人としてつきあいがある
- 5 サークルやボランティア活動でつきあいがある
- 6 その他 ()
- 7 特にない

【問 10 で「1」～「6」と答えた方に聞きます。】

問 11 外国籍住民とつきあう中で、良かったと思うことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 外国の文化・言葉を学ぶことができた
- 2 外国籍住民の友人ができた
- 3 地域に活気が出た
- 4 地域の生活ルールを再確認できた
- 5 地域の活動や助け合いが増えた
- 6 その他 ()
- 7 特にない

【問 10 で「7 特にない」と答えた方に聞きます。】

問 12 外国籍住民とのつきあいが無い理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 近所や職場に外国籍住民がいない
- 2 近所や職場に外国籍住民がいるかどうかわからない
- 3 どのように接すればよいかわからない
- 4 話しかけるのが怖い
- 5 外国籍住民とかかわりたいと思わない
- 6 その他 ()

問 13 外国籍住民との関係で困ったことやトラブルの経験がありますか。

(○はいくつでも)

- 1 ごみの出し方やルール
- 2 住宅からの物音や大声
- 3 交通ルールについて
- 4 集合住宅の共有スペースや公共の場所の使い方
- 5 町内会等への参加
- 6 ことばの行き違い
- 7 習慣・考え方の違いによる行き違い
- 8 子ども同士の関係
- 9 その他 ()
- 10 特にない

問 14 外国籍住民にとって、生活の困りごとや不安は何だと思われますか。

(○はいくつでも)

- 1 日本語がわからないこと
- 2 仕事や就職のこと
- 3 在留資格やビザ
- 4 住む家や場所
- 5 ゴミの出し方など生活のルール
- 6 税金や公共料金のこと
- 7 近所の人とのコミュニケーション
- 8 子どもの学校や保育園のこと
- 9 子育てのこと
- 10 災害が起きた時の対応
- 11 病気やケガをした時のこと
- 12 趣味や娯楽のこと
- 13 相談先が分からないこと
- 14 経済的な苦しさ
- 15 その他 ()
- 16 特にない

Ⅳ 外国籍住民との共生についてお聞きします

問 15 多文化共生という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1 よく知っている | 2 知っている |
| 3 聞いたことはある | 4 全く知らない |

問 16 外国籍住民と共生する必要があると思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 ある | 2 ない | 3 わからない |
|------|------|---------|

【問 16 で「1 ある」と答えた方に聞きます。】

問 17 なぜ、外国籍住民と共生する必要があると思いますか。(○は2つまで)

- | |
|---------------------------|
| 1 出身や国籍に関係なくお互いに助け合う必要がある |
| 2 外国の文化や考え方を取り入れることができる |
| 3 人口が増えてまちに活気が出る |
| 4 外国籍の知り合いや友人ができる |
| 5 少子高齢社会において労働力を確保できる |
| 6 地域経済が活性化する |
| 7 その他 () |

【問 16 で「2 ない」と答えた方に聞きます。】

問 18 なぜ、外国籍住民と共生する必要がないと思いますか。理由をお書きください。

--

問 19 外国籍住民との共生は、あなたご自身とのかかわりが深いことだと思いますか。
(○は1つ)

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|
- 1 そう思う 2 そう思わない 3 どちらともいえない

問 20 あなたは、地域に外国籍住民が増えていくことについてどのように思いますか
(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 外国の言葉や文化、習慣などを知る機会が増えるので良い |
| 2 | 地域で外国人と交流できるので良い |
| 3 | 地域の経済的な発展につながるので良い |
| 4 | 習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので不安だ |
| 5 | 治安が悪化する可能性があり不安だ |
| 6 | 外国人向けの施策、インフラが必要になるなど、社会的な負担が増えるので不安だ |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特にない |

問 21 あなたは、外国籍住民と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 挨拶や声かけをする |
| 2 | 地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る |
| 3 | 話しかけるとときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする |
| 4 | 地域のルールなどを外国語により情報提供する |
| 5 | 自分の持っている知識や技術を外国人に伝える |
| 6 | 多文化共生について理解を深める |
| 7 | 外国の生活習慣、文化などについて理解を深める |
| 8 | 差別意識を持たないようにする |
| 9 | 外国人に日本語を教える |
| 10 | 地域の外国人と意見交換を行う |
| 11 | 困っている外国人がいたら声をかける |
| 12 | 外国人を支援するボランティア活動に参加する |
| 13 | 自分自身が外国語を習得する |
| 14 | その他 () |
| 15 | 特にない |

問 22 外国籍住民と共生するために、外国籍住民にどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 日本の文化や言葉を学んでほしい
- 2 騒音やゴミの出し方などの生活ルールを守ってほしい
- 3 地域の祭りや行事に参加してほしい
- 4 地域の防災訓練や防犯活動に参加してほしい
- 5 町内会に加入してほしい
- 6 外国の文化を教えてほしい
- 7 その他 ()
- 8 特にない

問 23 外国籍住民がより暮らしやすくなるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 母国語で相談できる窓口をつくる
- 2 生活するために必要な情報を母国語で知らせる
- 3 同じ出身国の人が交流できる場所をつくる
- 4 道路や施設の案内をいろいろな外国語で表示する
- 5 病院・銀行・学校などへ行くときに、通訳をする
- 6 健康保険や税金などの手続きを、母国語や簡単な日本語で説明する
- 7 日本語教室をたくさんつくる
- 8 日本での生活ルールや文化を学ぶ機会をつくる
- 9 お祭り、スポーツなど日本人と外国籍住民が交流できるイベントをする
- 10 出身国の文化に触れるイベントをする
- 11 学校や地域で国籍や民族の違いを理解する教育を行う
- 12 外国籍住民が意見を言える機会をつくる
- 13 外国出身者に対するボランティアを増やす
- 14 外国籍住民に対する差別や偏見をなくす
- 15 その他 ()
- 16 特にない

V 市の施策や事業についてお聞きします

問 24 次のことについて聞いたことがありますか。(それぞれ 1 つに○)

①市内の外国籍住民人口の割合が約 1 %であること (令和 3 年 3 月末現在)		
1 知っている	2 知らない	
②市内の外国籍住民のうち一番多い国籍はベトナムであること (令和 3 年 3 月末現在)		
1 知っている	2 知らない	
③廿日市市の姉妹都市がニュージーランドのマスタートンであること		
1 知っている	2 知らない	
④多文化共生推進員について 本市では、英語、タガログ語、中国語、ベトナム語で話せる多文化共生推進員を配置しており、市役所での手続きや相談での通訳や、その他日常生活上の生活相談などを行っています。		
1 内容を知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
⑤ALT (外国語指導助手) について ALT とは英語の授業を補助する外国語指導助手のことです。		
1 内容を知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
⑥廿日市市国際交流協会について		
1 内容を知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
⑦市内に日本語教室があること		
1 内容を知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
⑧「やさしい日本語 ^{*1} 」とは何か やさしい日本語とは難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。		
1 内容を知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
⑨SDGs ^{*2} について SDGs とは 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。		
1 内容を知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
⑩ダイバーシティ ^{*3} について 「多様性」のこと。性別や国籍、年齢などにかかわらず、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。		
1 内容を知っている	2 聞いたことがある	3 知らない

問 25 市の国際化・多文化共生に関することについて、ご意見、ご提案などがありましたら自由にお書きください。

これで質問は終わりです。

最後までご協力ありがとうございました。

【参考】

* 1 : 文化庁 『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/pdf/92484001_01.pdf

* 2 : 外務省 『JAPAN SDGs Action Platform _ SDGs とは?』

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

* 3 : 内閣府 男女共同参画局 『第5次男女共同参画基本計画 用語解説』

https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/pdf/yougo.pdf